



須坂市立小山小学校だより

栃の子だより

平成 28 年 4 月 22 日
No.2

文責：寺島 寿一

あいさつ いのち うんどう・うたごえ えがお おもいやり

平成 28 年度 須坂市立小山小学校の重点活動について

今年度、小山小学校では、以下のような 3 つの指導の重点を決めだし、それを通して「学力向上」「楽しい学校」を目指し、取り組んでいきます。

学校教育目標

栃の木のように 深く根を張り 幹太く 枝葉ゆたかな人

願う姿

心もからだも
たくましい子ども

人やものを
大切にする子ども

よく考える子ども

指導の重点「体力づくり」

- ・ 腹筋→筋持久力を高める運動
- ・ 全校運動(マラソン・縄跳びなど)への継続的な取り組み
- ・ 6年間を見通した保健指導と食育計画の立案と実施

指導の重点「あいさつ」

- ・ 児童会や地域と連携したあいさつ運動
- ・ 授業や給食での最初と最後のあいさつの意味付けと振り返り
- ・ 感謝の思いを伝える活動(人権の花づくり, ボランティア活動)

指導の重点「学力向上」

- ・ 課題発見・解決に向けた主体的・協働的な学び(アクティブラーニング)による授業づくり
- ・ 自分の考えや思いを豊かに表現する言語活動の充実
- ・ 授業内容と連動し、家庭と連携する家庭学習

- ・ 命の源である自分の体や食べ物に対する畏敬の念を育てる道徳・食育教育等の充実。
- ・ 姉妹学級活動(運動・交流活動)や人間関係づくりゲーム等による人権意識の向上。
- ・ 保護者や地域の方々と共に創り上げる魅力ある教育課程や学校支援体制の構築(信州型コミュニティスクール)
- ・ 学級・学年・学校だより, ホームページなどで子どもの姿や学校の取り組みを発信。

- ・ 各種調査の分析…伸びている力と課題を客観的に把握し, その手だてを教職員で共有し実践する。
- ・ 授業のめあてを「学習問題」として明記し, 個人追究や他者との関わりを通して考えを深める授業を積み重ねる。
- ・ 授業の振り返りとなる宿題や次の授業につながる自主学習。

＜楽しい学校を目指します＞

- ・ 明るく元気なあいさつ
- ・ 認め合い, 高め合う仲間づくり
- ・ 居心地のよい学級・学校づくり
- ・ 開かれた学校づくり

＜学力の向上を目指します＞

- ・ わかる授業, 基礎基本の定着
- ・ 伸びる力をさらに伸ばす指導
- ・ 思考力・判断力・表現力の育成
- ・ 授業と連動した家庭学習

「すすんで学ぶ子どもをめざして 家庭学習の手引き」について

このリーフレットは、平成27年度に須坂市教育委員会・須坂市校長会が組織した「家庭学習の手引作成委員会」が中心となり、子どもたちの家庭学習充実を啓発するために作成しました。

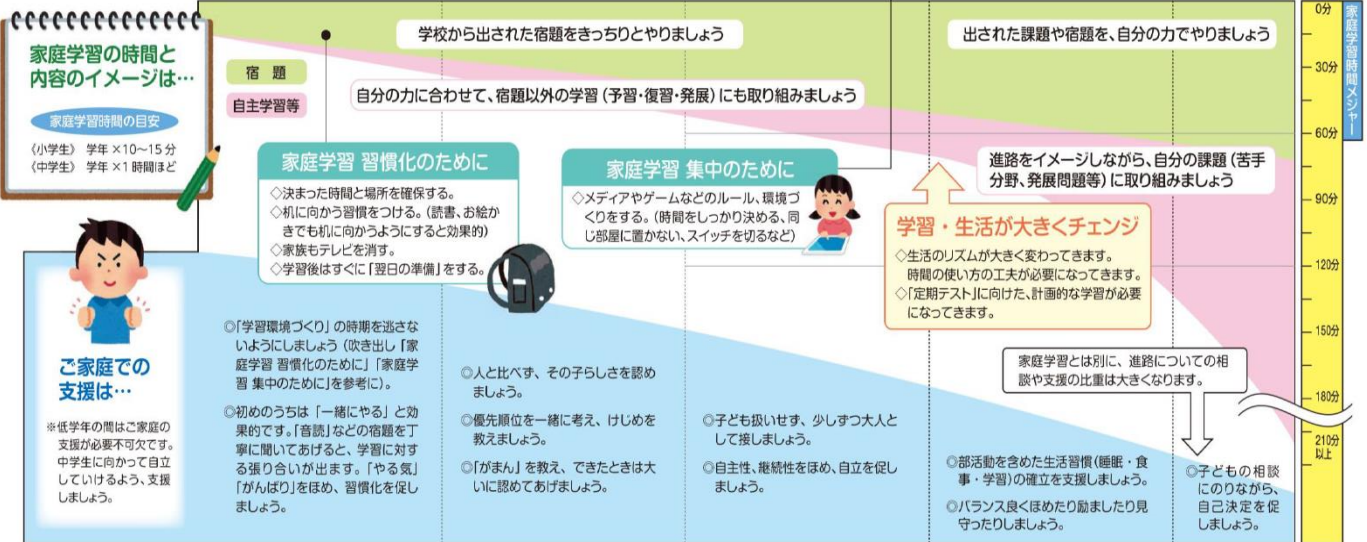
小山小学校では、4月28日の授業参観日に配布します。活用のポイントなど次のページに書いてありますが、4月28日のPTA総会でも説明する予定です。また、本校で作成した「家庭学習応援book」（同じく4月28日配布）と合わせて、学年に応じた家庭学習への支援をよろしく申し上げます。

義務教育9年間の 家庭学習のイメージ

（表の見方）

上段の表	9年間の自主学習を目指して、学習への意識の変化・成長段階と留意点を示しています。
下段の表	<p>グリーンの部分 宿題と自主学習等の時間的な割合のイメージと留意点を示しています。時間的な割合は「家庭学習時間の目安」と照らし合わせ、各学年の学習時間は「家庭学習時間の目安」を参考にしてください。</p> <p>ピンクの部分 自主学習のイメージ</p> <p>水色の部分 ご家庭の支援について示しています。学年が進むにつれて家庭の支援の割合は減っていき、自己決定に向けた支援は重みを増していきます。</p>

	小学校 1年・2年	3年・4年	5年・6年	中学校 1年・2年	3年
自主学習を目指して	生活習慣・学習習慣の基礎づくり	やり遂げる・達成感の経験	自主学習への取り組み	自主学習の工夫と継続	自主学習の充実
学習に対する意識の変化	・勉強たのしみだな。早くやりたいよー。	・自分だけでできるよ！ ・宿題、めんどだな。 ・でも、やったらできた！	・宿題以外にもやってみようかな。 ・そんなこと、言わなくてもわかってるよ。	・今日分らなかったところ、もう一度やってみよう。 ・疲れた。眠い。面倒だな。	・目標に向けて「やるぞ」 ・今からでも間に合うかな。
子どもの成長段階	◎高い興味や関心 ◎素直な受け止め	◎何でも自分でやる思い ◎苦手意識の芽生え	◎心と体の急激な変化、思春期 ◎自分を客観視、他人の目を意識	◎論理的・抽象的思考が可能 ◎学習の必要性や進路への自覚	◎見通しや計画の定着 ◎希望と不安の混在
学習や生活に関わって、留意したいこと	携帯ゲーム機等への興味（けじめが必要）	ゲーム、SNS等に時間をとられる（ルールづくり）	部活動（両立のための計画）・部活動引退		



このリーフレットの一番の特徴は、9年間を見通した「家庭学習のイメージ」のページです。小学校低学年の段階では、家庭学習の中心は宿題(グリーン)ですが、学年が上がるにつれ自主学習(ピンク)の時間が増えていくことを面積図で示しています。

この自主学習こそが、家庭学習で大切にしたいところです。子どもたちが、「わかるようになりたい」「できるようになりたい」「もっとやってみたい」という意欲にスイッチを入れるために、学校・家庭での役割が大事になります。学校では、子どもたちに学習の楽しさやわかった喜びを実感させる授業づくり、家庭では生活リズム・学習環境づくりなどがあります。それぞれが連携しあって、子どもたちの家庭学習を支援していきましょう。

そして、家庭での支援(水色)については、学年が上がるにつれて徐々に減っていくことも面積図で表しています。子どもたちの自立を促しつつ、自己の進路決定に向けてご家庭でのサポートが大事になります。子どもたちの悩みに耳を傾けるとともに、保護者の方の経験や思いを伝えていただければ、幸いです。